

第1回 八木中学校区学校運営協議会 概要

日付:令和7年6月18日(水)

場所:流山市立長崎小学校

1. 開会・挨拶

- 教育委員会指導課より
昨年度の災害時の引き渡し対応に関する協議への感謝。
今年度も地域と学校が連携して「子どもたちを育てるコミュニティ・スクール」を目指す。
 - 委員紹介・会長選出
 - 会長:久保田委員
 - 副会長:澁谷委員
-

2. 各校からの学校経営方針の説明

■八木中学校(佐藤校長)

- 学校教育目標:心優しく、たくましい生徒の育成
サブテーマ:笑顔・信頼・自立
- 重点取組
 - 教師からの一方通行(ティーチング)から、生徒を引き出す(コーチング)へ。
 - 電子黒板+タブレットでの授業充実。
 - 自ら課題を設定する「課題探求学習」の推進。
 - 自己肯定感を高める支援:「こころの天気」での心の確認・声掛け。
 - 外部機関との連携強化。
- 現状と課題
 - 自己肯定感の低下傾向。
 - 90%の生徒が「先生に認められている」と感じているが、将来の目標がある生徒は約 60%。
 - 約 1～2 割の生徒に対する個別支援の必要性。
- 特別対応
 - 6 月 30 日より、熱中症対策で部活動を朝に実施。授業は午前 3 時間・4 時間目分は午後へ変更。

■八木南小学校(柴田校長)

- **学校教育目標:**「共に生きる社会を創る児童の育成」
サブテーマ:夢・思いやり・たくましさ
- **重点取組**
 - 夢と目標を持ち、自分を大切にする心(自己肯定感)。
 - 仲間との思いやりと切磋琢磨。
 - 異文化や AI 時代を見据えた対応力。
 - 発問→考える時間→共有→深めるという授業づくり。
 - 教師のファシリテート力を高める指導。
- **授業改善**
 - 双方向の授業の推進。
 - 自分で考える時間を大切にし、教員は見守る姿勢を重視。
- **教職員育成と地域連携**
 - 若手教員の増加をふまえ、丁寧な指導を継続。
 - 地域の見守りに感謝と協力依頼。

■長崎小学校(小泉校長)

- **学校教育目標:**「笑顔・一生懸命～主体的に生きる子の育成」
- **重点取組**
 - 自分で計画を立て、見通しを持ち取り組む力。
 - 自己肯定感を土台にした主体的行動。
 - 探求学習・自由進度学習に積極的に取り組み。
 - 児童がテーマを設定し深く学ぶ。
 - 学年担任制＋教科担任制(3年生以上)で指導の質向上。

3. 委員からの質問・意見交換

- **不登校・別室登校の現状**
 - 中学校で 5～6%の生徒が不登校傾向。教室と異なる環境での支援を実施。
 - 八木南小では保健室隣の別室を活用。職員が随時対応。
 - フリースクールの施設は市内に 2 か所あるが、場所の問題あり。

- 空き教室を活用した支援体制の拡充を望む声。
 - 学校内に常駐支援スタッフの配置を望む意見も。
 - **家庭・地域との連携**
 - 子どもたちの問題の多くは家庭に由来するとの指摘。
 - 地域ぐるみで子育て体制の再構築が必要。
 - 子どもの声を吸い上げる仕組みの構築。
 - 共感性・安心できる相手の存在が重要。
 - 不審者対応・防犯協力の家のプレートは八木地区が発祥
-

4. その他報告事項

- **学校経営方針**:承認される。
 - **支援体制強化の要望**
 - 別室登校の子どもへの対応職員の予算化・配置を希望。
 - **生徒会の動き**
 - 八木中学校では、生徒会が学校評価への主体的な取組を開始。
-

今後に向けて

- 不登校支援や自己肯定感向上のための環境整備・人員配置が喫緊の課題。
- 教職員育成と地域連携によって、子どもが笑顔で学べる学校づくりを推進。
- 教育委員会との協働を通じ、実効性のある支援策を提案していく必要あり。